

# メルマガ「とちぎ通信」号外 ~2013年11月~



世界の栃木県人会のニュースを不定期にお届けする「とちぎ通信」号外。今年はブラジル・サンパウロにある在伯栃木県人会がめでたく創立 55 周年を迎えたことにより開催された記念式典の様子について、会員の方が記事を書いてくれました。

## 在伯栃木県人会創立 55 周年記念式典

在伯栃木県人会

今年6月30日午前10時より、雨天のため、イビラプエラの移民慰霊碑前での法要は取りやめ、当会館に於いて、伯国法眼寺住職毛利逢洲師により、先没者慰霊法要を執り行いました。

午前11時より記念式典を坂本アウグスト会長の挨拶で始まり、近年の日本やブラジルも含む世界各国の厳しい経済情勢のため、今回は小規模で式典を行なう事、母県より立派な表彰状と記念品などを送って頂いたことを報告しました。



### 厳かに執り行われた先没者慰霊法要

本年度は東北地震の影響により、母県からどなたも参加されませんでしたので、福田知事よりの祝辞を久保田元副会長が代読、県議会議長三森文徳氏の祝辞を永田副会長が、県交流協会理事長入内澤滋夫氏の祝辞を館野相談役が代読致しました。その後功労者表彰があり、吉田繁元副会長、大貫為義元会計理事、田中寅松法務理事の三氏に長年県人会のために尽くされた功労により県知事からの表彰状と記念品が贈呈されました。

続いて80歳以上の高齢者28人に表彰状と記念品が授与されました。功労者には美しい日光彫の置時計が、高齢者には同じ日光彫の写真立てが贈られ皆大喜びでした。



福田知事からの祝辞を代読する久保田元副会長



記念のケーキカット(左から尾身婦人部長・坂本会長・横田青年部長)



表彰状を受賞され誇らしげな会員の皆さん

式典後、前会長横田啓氏の音頭で乾杯をし、会食に移りました。buffet・アマミの美味しい御馳走に一同舌づつみを打ちながら、久し振りに会った友人達と歓談したり、楽しい一時を過ごしました。その後アトラクションにスガイ・エミリーさんの「舞踏」が披露され、カラオケ部の戸田マルタ先生の歌、その他2、3人が歌って、青山拓也會計理事の挨拶で閉会となりました。